

# 「ありがとう」を先生に

川村 志穂（青森県弘前市／女性 32歳）

先生、元気になっていますか？ 天国に行って早7年……。そちらの生活はどうですか？ 大好きな登山と写真、続けていますか？

先生との出会いは中学1年の春。国語担当でやって来た先生は、口癖が「いいか？」。あまりに話すものだから、面白くて授業そっちのけでノートに口癖の回数を数えては友達と笑ってごめんなさい。でも、いつしか私の中で気になる存在となり、放課後も先生の部屋に行っては、勉強のこと、恋愛のこと、友達のこと、何でも話すようになりましたね。

中学2年の冬、私は部活の人間関係が辛くなり、不登校気味になったときがありました。先生はいつも心配してくれて、登校できた時はいつも声を掛けてくれましたね。そんな先生が春で定年退職だと知ったのは、登校が安定した3月に入ってからでした。

3月31日の夜、自宅の電話がなりました。先生からの初めての電話。

「俺は今日で教師じゃなくなるけど、いつでも困ったことがあれば電話しなさい。先生としてお前にできることはもうないけど、いつでも味方だから。会いたくなったらいつでも会いに来なさい。」

あの電話があったから、その後の中学生生活は楽しく過ごせました。高校も大学も楽しかったです。先生との関係はその後も続き、定期的に電話したり、手紙のやりとりをしたり、時にはドライブに行ったりもしましたね。就職の時は、非常勤採用だった私に、正職員になったら一緒にお酒を飲もうと励まし、約束してくれました。

そして目標を達成した平成17年秋。仕事に慣れるのに必死で、報告できずに平成18年を迎えました。お正月が終わった頃にはまた会う約束をしようと思っていた矢先の1月3日。先生は心疾患で突然、天国に旅立ちました。棺の中の先生との再会。あまりに突然すぎて、言葉が出なかつたです。先生に会って伝えたかつたたくさんの「ありがとう」。先生のあの時の電話がなかつたら今の私はいません。

天国の先生に報告したいことがあります。

3年前、最愛の人と結婚したよ。結婚式には先生の奥さんと娘さんが参加してくれたんだよ。ウエルカムボードには先生の写真も貼ったよ。

それから先生。今、私のお腹の中には14週になる赤ちゃんがいるの。もし、この手紙が採用されたら、その頃は家族が一人増えているよ。無事に元気な赤ちゃんが生まれるように、天国で見守っていてね。

先生、本当にありがとう。

またいつの日にか、再会できる日を楽しみにしています。